

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成21年3月5日(2009.3.5)

【公開番号】特開2006-236321(P2006-236321A)

【公開日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【年通号数】公開・登録公報2006-035

【出願番号】特願2006-9050(P2006-9050)

【国際特許分類】

G 06 F 12/00 (2006.01)

G 06 F 17/21 (2006.01)

【F I】

G 06 F 12/00 5 4 7 Z

G 06 F 17/21 5 0 1 T

G 06 F 17/21 5 7 0 R

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月19日(2009.1.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アクセス可能なメタデータ・ストアを生成するコンピュータ実装方法であって、

表面ビュー・データおよびメタデータを含むソース文書をソース・アプリケーション上で生成するステップと、

前記ソース文書のメタデータをマークアップ言語(M L)文書内に構成するステップと、

前記ソース文書のメタデータを含む前記M L文書を前記ソース文書の表面ビュー・データと分かれた前記メタデータ・ストアに記憶するステップと、

他のアプリケーションのオブジェクトモデルを介した前記他のアプリケーションの前記M L文書に対するアクセスを提供するアプリケーション・プログラミング・インターフェース(A P I s)を前記メタデータ・ストアに公開するステップとを備え、前記メタデータ・ストアに対して公開されたA P Iは、前記他のアプリケーションが、

前記M L文書に関連付けられたメタデータを読み取ること、

前記M L文書に関連付けられたメタデータに対する変更を監視すること、

前記M L文書に関連付けられたメタデータを変更すること、

前記M L文書に関連付けられたメタデータに対する変更の通知を受信すること、および

前記M L文書に関連付けられたメタデータに対する変更を元に戻すことを可能にすることを特徴とする方法。

【請求項2】

前記M L文書は拡張マークアップ言語(X M L)文書であることを特徴とする請求項1に記載のコンピュータ実装方法。

【請求項3】

前記ソース文書のメタデータをM L文書内に構成するステップは前記メタデータを複数のM L文書内に構成するステップを含み、前記複数のM L文書の各々は前記ソース文書のメタデータの部分を含むことを特徴とする請求項1に記載のコンピュータ実装方法。

【請求項 4】

前記 M L 文書はスキーマ・ファイルにより妥当性が確認されることを特徴とする請求項 1 に記載のコンピュータ実装方法。

【請求項 5】

前記メタデータに対する変更が前記メタデータ・ストアにおいて受信された場合、前記メタデータ・ストアは変更通知を前記他のアプリケーションに送信することを特徴とする請求項 1 に記載のコンピュータ実装方法。

【請求項 6】

前記表面ビュー・データは前記メタデータ・ストアと分かれたデータ・ストアに記憶されることを特徴とする請求項 1 に記載のコンピュータ実装方法。

【請求項 7】

前記公開された A P I は、他のアプリケーションが、同時に
前記 M L 文書に関連付けられたメタデータを読み取ること、
前記 M L 文書に関連付けられたメタデータに対する変更を監視すること、
前記 M L 文書に関連付けられたメタデータを変更すること、
前記 M L 文書に関連付けられたメタデータに対する変更の通知を受信すること、および
前記 M L 文書に関連付けられたメタデータに対する変更を元に戻すことを可能にすることを特徴とする方法。

【請求項 8】

アクセス可能なメタデータ・ストアを生成するためにプロセッサ上で実行するコンピュータ実行可能命令を有するコンピュータ読み取り可能な記憶媒体であって、前記命令は、
メタデータを含むソース文書をソース・アプリケーション上で生成するステップと、
前記ソース文書のメタデータをマークアップ言語 (M L) の文書内に構成するステップと、

前記ソース文書のメタデータを含む前記 M L 文書を前記メタデータ・ストアに記憶するステップと、

前記ソース文書のメタデータを含む前記 M L 文書に対する他のアプリケーションのアクセスを提供するアプリケーション・プログラミング・インターフェース (A P I s) を前記メタデータ・ストアに公開するステップとを備え、前記メタデータ・ストアに対して公開された A P I は、前記他のアプリケーションが、

前記 M L 文書に関連付けられたメタデータを読み取ること、
前記 M L 文書に関連付けられたメタデータに対する変更を監視すること、および
前記 M L 文書に関連付けられたメタデータを変更することを可能にすることを特徴とするコンピュータ読み取り可能記憶媒体。

【請求項 9】

前記 M L 文書は拡張マークアップ言語 (X M L) 文書であることを特徴とする請求項 8 に記載のコンピュータ読み取り可能記憶媒体。

【請求項 10】

前記ソース文書のメタデータを M L 文書内に構成するステップは前記メタデータを複数の M L 文書内に構成するステップを含み、前記複数の M L 文書の各々は前記ソース文書のメタデータの部分を含むことを特徴とする請求項 8 に記載のコンピュータ読み取り可能記憶媒体。

【請求項 11】

前記 M L 文書はスキーマ・ファイルにより妥当性が確認されることを特徴とする請求項 8 に記載のコンピュータ読み取り可能記憶媒体。

【請求項 12】

前記メタデータに対する変更が前記メタデータ・ストアにおいて受信された場合、前記メタデータ・ストアは変更通知を前記他のアプリケーションに送信することを特徴とする請求項 8 に記載のコンピュータ読み取り可能記憶媒体。

【請求項 13】

前記公開されたA P Iは、他のアプリケーションが、同時に
前記M L文書に関連付けられたメタデータを読み取ること、
前記M L文書に関連付けられたメタデータに対する変更を監視すること、および
前記M L文書に関連付けられたメタデータを変更することを可能にすることを特徴とする請求項8に記載のコンピュータ読み取り可能記憶媒体。

【請求項14】

アクセス可能なメタデータ・ストアを生成するシステムであって、
プロセッサと、
メタデータを含むソース文書をソース・アプリケーション上で生成し、
前記ソース文書のメタデータをマークアップ言語(M L)の文書内に構成し、
前記ソース文書のメタデータを含む前記M L文書を前記メタデータ・ストアに記憶し、かつ
前記ソース・ファイルのメタデータを含む前記M L文書に対する他のアプリケーションのアクセスを提供するアプリケーション・プログラミング・インターフェース(A P I s)を前記メタデータ・ストアに公開するために実行されるコンピュータ実行可能命令を記憶しているメモリとを備え、前記メタデータ・ストアに対して公開されたA P Iは、前記他のアプリケーションが、同時に

前記M L文書に関連付けられたメタデータを読み取ること、
前記M L文書に関連付けられたメタデータに対する変更を監視すること、
前記M L文書に関連付けられたメタデータを変更すること、
前記M L文書に関連付けられたメタデータに対する変更の通知を受信すること、および

前記M L文書に関連付けられたメタデータに対する変更を元に戻すことを可能にすることを特徴とするシステム。

【請求項15】

前記M L文書は拡張マークアップ言語(X M L)文書であることを特徴とする請求項4に記載のシステム。

【請求項16】

前記ソース文書のメタデータをM L文書内に構成することは前記メタデータを複数のM L文書内に構成することを含み、前記複数のM L文書の各々は前記ソース文書のメタデータの部分を含むことを特徴とする請求項14に記載のシステム。

【請求項17】

前記M L文書はスキーマ・ファイルにより妥当性が確認されることを特徴とする請求項14に記載のシステム。

【請求項18】

前記メタデータに対する変更が前記メタデータ・ストアにおいて受信された場合、前記メタデータ・ストアは変更通知を前記他のアプリケーションに送信することを特徴とする請求項14に記載のシステム。